

ピリピ人への手紙1:1-2 YIBCの聖徒たちへ

今日はマルコの福音書の学びをお休みして、キリストの体の部分について触れたいと思います。今日見ていきたい箇所はピリピ人への手紙1:1-2です。この礼拝堂にいる私たちは4つのグループに分けられますが、そのうちの3つのグループはこの箇所で直接言及されていて、4つ目のグループはそれらのグループに含まれていないという形で言及されています。今日の礼拝は、教会におけるこれらのグループの一つ一つを確認し、任命するものです。まず、この4つのグループと、それぞれについて説明したいと思います。一つ目に教会、つまりキリストの体全体がYIBCの一部として存在します。それから監督、長老です。私たちには神の恵みにより、神ご自身が立て上げて下さった2人の長老が与えられました。今日は、その2人が新たな役割に就くにあたり按手礼を持ちます。この箇所には執事もいますが、神は私たちを3人の新しい執事で祝福してくださいました。今日は彼らの按手式も行います。そして4つ目のグループに属する人たちがいます。それは今日ここにおられる、長老でも、執事でも、キリストの体でもない方たちです。皆さんにもお話したいと思います。ピリピの教会に対するパウロの挨拶の言葉である今日の聖書箇所を読んでみましょう。ピリピ人への手紙1:1-2にはこうあります。「キリスト・イエスのしもべである、パウロとテモテから、ピリピにいる、キリスト・イエスにあるすべての聖徒たち、ならびに監督たちと執事たちへ。2 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたにありますように。」

もちろん、これはパウロの手紙のいつもの書き出し方です。まずは自分について、そしてここではその時一緒にいて、教会にも知られていたと思われるテモテについて述べています。この挨拶の中で、パウロは3つのグループの人々に語りかけています。まず最初に「ピリピにいる、キリスト・イエスにあるすべての聖徒たち」と言っていることに注目してください。それから「ならびに監督たち（後にこれは長老のことと分かりますが）と執事たちへ」とあります。最初にある聖徒たちとは、教会全体のことです。イエス・キリストを知っている私たち全員が聖徒です。パウロのこの呼びかけの前提にあるのは、教会はイエス・キリストを通して神との関係を正しくされ、神の目に聖徒、つまり「聖なる者」とされた人々で構成されているということです。聖徒という呼び名は私たちが個々人の聖さによるのではなく、イエス・キリストとの関係を通して神の御前に認められた私たちの地位を指します。私たちはイエス・キリストの聖さ、あるいは義を身にまとっているからこそ、聖徒、聖なる者となれるのです。この考え方は聖書の多くの箇所に見ることができます。イザヤ書 61:10 には「私は主にあって大いに楽しみ、私のたましいも私の神にあって喜ぶ。主が私に救いの衣を着せ、正義の外套をまとうせ、花婿のように栄冠をかぶらせ、花嫁のように宝玉で飾ってくださるからだ。」とあります。ガラテヤ人への手紙 3:26-27 には「あなたがたはみな、信仰により、キリスト・イエスにあって神の子どもです。27 キリストにつくバプテスマを受けたあなたがたはみな、キリストを着たのです。」とあります。これについても一つだけ、黙示録 19:7-8 には「私たちは喜び楽しみ、神をほめたたえよう。子羊の婚礼の時が来て、花嫁は用意ができたのだから。8 花嫁は、輝くきよい亜麻布をまとうことが許された。その亜麻布とは、聖徒たちの正しい行いである。」とあります。私たちは自分が身にまといたいものを何でもまとうて天国に行けるわけではありません。神ご自身が与えてくださる義の衣を身にまとうて初めて、神の食卓に永遠の居場所を得ることが出来るのです。そして、その義、私たちを聖徒や聖なる者とする聖さは、救いを通してイエス・キリストをまとうことによって得られるのです。

指摘したいのは、パウロが長老と執事に語りかける前に教会全体に語りかけている点です。パウロが教会に宛てた他の書簡を見ても、冒頭で直接リーダー達にまで語りかけているのはこの手紙だけです。ということは、教会の指導者たちよりも先に教会全体に語りかけることが重要であったように見えます。今日、私たちは按手式をもって、長老と執事の皆さんを聖別します。これは使徒の働き 13:2-3 に記されていることに基づくものです。そこには「彼らが主を礼拝し、断食していると、聖霊が「さあ、わたしのためにバルナバとサウロを聖別して、わたしが召した働きに就かせなさい」と言われた。3 そこで彼らは断食して祈り、二人の上に手を置いてから送り出

した。」とあります。ですが、長老と執事の皆さんに、この箇所にある役割についてお話する前にお伝えしたいことがあります。それは、私たちが教会内の役割に就く以前に、まずキリストの体である教会の一部であるということです。私たちの最高の呼び名は、長老でも執事でもなく、聖徒です。もし私たちが、自分たちの最高の立場とは、自分自身に対して死に、キリストに在って生かされ、自分自身の努力によってではなく、キリストを通して神の前に聖徒とされていることだと認識するなら、キリストの体において指導者となると、そこにプライドや傲慢さの入る余地はありません。ですから今日、私たちは長老と執事たちを教会内の特定の指導者として聖別しますが、それが私たちの礼拝の最も重要な部分ではありません。礼拝の最も重要な部分は、その後です。教会員の皆さまには長老や執事たちと共に、YIBCのキリストの体に対する誓いとして、新しい教会契約に署名して頂きたいと思えます。

さて、既に指摘しましたように、ピリピ人への手紙では、特別なケースとして、パウロはわざわざ教会の指導者である監督と執事に挨拶をしています。もちろん、パウロはここで多くに触れている訳ではありませんが、この短い導入部分にさえ、パウロの長老へのメッセージがあると思うので、今日はこの箇所から私たちの2人の長老へ向けて話をしたいと思えます。まず、ここでパウロは新約聖書で主に使われている牧師や長老、また原語の PRESBUTEROS という言葉を使っていないことに注目してください。代わりに、監督あるいは EPISKOPOS という言葉を使っています。ヒロさん、グラントさん、私たち長老は、羊飼いのようにイエス・キリストの教会を監督するよう召されています。神が YIBC の教会の部分となるよう召された人々を、我々がどのように牧会するか責任が課せられています。この責任、リーダーシップ、監督といった考え方をヘブル人への手紙 13:17 に見ることができます。「あなたがたの指導者たちの言うことを聞き、また服従しなさい。この人たちは神に申し開きをする者として、あなたがたのたましいのために見張りをしているのです。ですから、この人たちが喜んでそのことをし、嘆きながらすることにならないようにしなさい。そうでないと、あなたがたの益にはならないからです。」私たちの役割には、我々のリーダーシップさえも監督するべき教会を監督することも含まれます。ですが、仕える羊飼いである我々に、神はどのような監督者としての責任を負わせようとしておられるのでしょうか。ペテロの手紙第一 5:2-3 には「あなたがたのうちにいる、神の羊の群れを牧しなさい。強制されてではなく、神に従って自発的に、また卑しい利得を求めてではなく、心を込めて世話をしなさい。3 割り当てられている人たちを支配するのではなく、むしろ群れの模範となりなさい。」とあります。自身も長老であったパウロが、自分とテモテをどのように紹介したのかを振り返りたいと思えます。テモテは少なくともある時期においては長老で、恐らくエペソでの主要な長老か牧師のような存在であったと思われまます。またパウロはもちろん使徒の一人であり、多くの教会を開拓し、次の教会を開拓するために移動するまでは長老としてその教会で働いたことでしょう。自分とテモテの紹介の中で、パウロは自分たちのことを「キリスト・イエスのしもべ」と呼んでいます。ここでしもべと訳されている語は、時にしもべと訳される Diaconos あるいは執事という単語ではありません。ここで使っている言葉は DOULOS という言葉で奴隷を意味します。パウロは自分自身とその監督する役割をイエス・キリストの奴隷と見ていました。長老である私たちが、支配的なリーダーとなったり、間違っただ理由でミニストリーを行わないようにするにはどうすれば良いのでしょうか。それは、私たちの真の召命と究極の主人を忘れないことです。私たちはまず第一に、キリストの体と共にある聖徒であり、自分自身ではなく、しもべとして主イエス・キリストに仕え、神が YIBC で一つのからだとなるように召された羊たちをどのように牧するかにおいて、神の栄光のためにその御心を行います。それが牧師として、長老としての私たちの務めを表すものであるべきですし、ただ良い導きとなるだけでなく、イエスという最高権威に、また教会全体としての権威に従う助けとなるはずで

同じことを執事の皆さんにも言わせてください。教会には2つの異なる役職があります。使徒の働きによれば、最初の執事たちは長老たちが祈りと御言葉の奉仕と言う2つのことに集中できるよう、長老たちの負担を軽減するために選ばれました。ですから、執事としての皆さんの役割を聖書的に理解するなら、私たち長老が祈りと御言葉の奉仕に集中できるよう、長老の権威のも

と、教会のミニストリーや実質的な関心事についてリードしていただきますようお願いいたします。ですが、長老と同じく、皆さんもまず第一に聖徒であり、教会の体の部分です。そしてこの体において、長老も執事も教会員も、私たちの周りにいる人たちにキリストを示すため、皆が互いに愛をもって仕え合うのです。ヨハネの福音書 13:35 は「互いの間に愛があるなら、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるようになります。」と書いています。リーダーシップとは、ミニストリーの様々な面であなたが導く人々に対する愛の奉仕です。リーダーシップとは、説教台に立つことではなくても、弟子を作るために不可欠な様々な面でキリストの体に仕えることです。託児の奉仕者がいることで、毎週日曜日の朝、数時間の間は、親たちが気を散らすことなく礼拝し、信仰を深めることができます。この多文化的な環境において、教会のそれぞれの言語を持つグループが教会に繋がりを感ぜられるようにすることは極めて重要です。人々が教会に来られた瞬間から歓迎され、大切にされていると感ぜることができるよう、トレーニングを受けた挨拶係や案内係がいることで、長老は自分たちだけがゲストに挨拶をすべきだと心配することなく、その後の礼拝に集中することができます。もちろん、長老たちはこれら全てのことに何らかの形で関わっているのですが、これらのミニストリーを組織し監督するのは執事です。賛美チームをまとめ、楽譜を印刷し、歌詞をスクリーンに表示するため、執事のリーダーシップがなかったとしたら、私たちの礼拝はどのようなものになるのでしょうか。事の皆さん、皆さんがどのような役割を担っていても、皆さんはこの教会の生活に必要な存在であり、私たちが神に栄光を帰し、大宣教命令を果たすために、神は皆さんのリーダーシップを用いられます。

また、私は2節を訳があって含めました。2節には「私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたにありますように。」とあります。もちろん、これは標準的な挨拶で見過ごしても構わないと思えるかもしれませんが、この挨拶が伝える深く重要な真理について皆さんに考えて欲しいのです。恵みと平安は、主イエス・キリストを通して、神から与えられます。教会員であれ、執事であれ、長老であれ、神の恵みなしに私たちはキリストの体の一員として、召された役割を果たすことはできません。神が愛をもって私たちに手を差し伸べ、イエス・キリストを遣わして私たちの罪のために十字架にかけられるまで、私たちは霊的に死んだ罪人でした。私たちが罪ゆえに敵対している、創造主である神との間に、イエスの死は平安をもたらしてくれます。ですから、私たち皆がキリストの体において自分の役割を果たすためには、キリストを見上げなくてはなりません。自分の力では果たすことができないのです。恵みによって救われ、恵みによって生きるのです。ペテロの手紙第二3:18は「私たちの主であり、救い主であるイエス・キリストの恵みと知識において成長しなさい。イエス・キリストに栄光が、今も永遠の日に至るまでもありますように。アーメン。」とあります。どれほどまでに私たちがイエスを必要としているのか、理解を深め続けなくてはなりません。恵みとは、私たちに新しい命を与えてくれますが、一回限りのものではありません。神の恵みとは、キリストに在って日々成長することができるようにと与えられる、私たちが値しない神の優しさの絶え間ない注ぎです。それこそがキリストの体における私たちの奉仕の原動力でなければなりません。ですが、今日ここには4つのグループがあるとお話したことを思い出してください。その最後のグループ…聖徒、長老、執事、そして聖徒ではない方たちです。皆さんはイエス・キリストを受け入れておられません。神の恵みは、今日あなたを受け入れ、ご自分の聖なる者、聖徒の一人とする準備ができています。ですが、それはイエス・キリストを救い主であり、主であると信じる信仰によってのみ得られます。罪を悔い改め、イエス・キリストを主であり救い主であると信じることによって、皆さんも主の体の一部となり、主の教会の一部となり、聖徒となる喜びを経験することができます。あるいは、ただ傍観者であり続け、イエスゆえに私たちが示す愛を受けても、神の聖徒としてキリストの体の一部となる素晴らしい人生を味わわずに過ごすこともできます。キリストを受け入れ、神の恵みを体験し、私たちの仲間になりませんか。外から内に入り、イエス・キリストを通して聖くされ聖徒となり、神の家族になりませんか。祈りましょう。

Philippians 1:1-2 To the Saints at YIBC

I want to take a break from our regular study of Mark today, and spend some time addressing each part of the Body of Christ today. Philippians 1:1-2 is the passage I want us to look at. In this sanctuary today, we have 4 groups of people, and three of them are referenced directly in this passage and the 4th is addressed by not being included in the others. Today, our worship service is about commissioning and affirming each of these groups in the church. Let me just tell you the 4 groups and then address each one. First, there is the church, the entire Body of Christ that is part of YIBC. Then we have the Elders. And now by God's grace, we have two additional Elders that God has raised up who we will lay hands on and ordain to their new role today. We also see the Deacons in this passage, and God has blessed us with 3 new Deacons to ordain to their roles today as well. Then there is a 4th group that is left out, but is addressed by their absence – those who may be here today that are not Elders, Deacons or the Body of Christ. I want to talk to you too. Let's read our passage today, which are Paul's words of greeting to the church in the town of Philippi. **Philippians 1:1-2 says, Paul and Timothy, servants of Christ Jesus, To all the saints in Christ Jesus who are at Philippi, with the overseers and deacons: 2 Grace to you and peace from God our Father and the Lord Jesus Christ.**

Of course, this is Paul's usual opening of his letters. He introduces himself and in this case his companion Timothy since he is with him at this point and seems to be known by the church. In his greeting to this church, he addresses three groups. Notice first he says, **"To all the saints in Christ Jesus who are at Philippi..."** Then he says, **"with the overseers (which we will see are Elders) and deacons."** The first group addressed, Saints, is the entire church. Everyone one of us who knows Jesus Christ is a Saint. The assumption by Paul's address is that the church is made up of those who have been made right with God through Jesus Christ and are now Saints or "holy ones" in God's eyes. The title Saint does not refer to our possession of personal holiness, but to our status before God through our relationship with Jesus Christ. We are clothed in Jesus Christ holiness or righteousness, which makes us a Saint, a holy one. We see this idea in many places in Scripture. **Isaiah 61:10 says, I will greatly rejoice in the Lord; my soul shall exult in my God, for he has clothed me with the garments of salvation; he has covered me with the robe of righteousness, as a bridegroom decks himself like a priest with a beautiful headdress, and as a bride adorns herself with her jewels. Galatians 3:26-27 says, ²⁶ for in Christ Jesus you are all sons of God, through faith. ²⁷ For as many of you as were baptized into Christ have put on Christ. Just one more illustration of this in Revelation 19:7-8 we read, Let us rejoice and exult and give him the glory, for the marriage of the Lamb has come, and his Bride has made herself ready; ⁸ it was granted her to clothe herself with fine linen, bright and pure"—for the fine linen is the righteous deeds of the saints. We don't have a place in heaven clothed in whatever we want to wear. We only receive our eternal place at God's table when we wear the clothing of righteousness that he himself provides. And that righteousness, that holiness that makes us a saint or a holy one comes through putting on Jesus Christ through salvation.**

I want to point out that Paul addresses the church as a whole before addressing the Elders and Deacons. When I looked at the other letters of Paul to churches, this is the only letter to a church where he even addresses the leadership directly in the opening. It seems important then that he addresses the church first before the leadership of the church. Today we are going to give special recognition to our Elders and our Deacons by

setting them aside through the laying on of hands. This is based in part on [Acts 13:2-3](#) where we read, “Set apart for me Barnabas and Saul for the work to which I have called them.” ³ Then after fasting and praying they laid their hands on them and sent them off. But to the Elders and Deacons, let me say this, before we even address your office in these verses. We are first all part of his church the Body of Christ before we are an office within the church. Our highest designation is Saint not Elder or Deacon. There can be no pride or arrogance that comes from being recognized for leadership within the body of Christ, if we recognize our highest position as one of being dead to ourselves, but alive in Christ and made a Saint before God through Christ’s effort and not our own. So, today, while we will set apart these Elders and Deacons for specific leadership within the church, that is not the most significant part of our service. The most significant part of our service will take place after that where I am asking all of you who are members to affirm your commitment along with the Elders and Deacons to the Body of Christ at YIBC by signing our new Membership Covenant as a sign of that commitment.

But of course, as I pointed out, in a special case here in Philippians, Paul does go out of his way to greet specifically the church leadership of both Overseers and Deacons. Now, of course, he does not get into a lot of details, but I want to address our two Elders from this verse today, because I think even in this short introduction, Paul has something to say to us as Elders. First notice, he doesn’t use the primary New Testament term for Pastors, Elder or PRESBUTEROS in the original language. Instead, he uses the term Overseer or EPISKOPOS. Hiro and Grant, we as elders are called to oversee as shepherds the church of Jesus Christ. We will be held to account for how we shepherd those whom God has called to be part of his church at YIBC. We see this idea of accountability and leadership and oversight in [Hebrews 13:17](#) ¹⁷ Obey your leaders and submit to them, for they are keeping watch over your souls, as those who will have to give an account. Let them do this with joy and not with groaning, for that would be of no advantage to you. Of course, our role involves leadership of the church who ultimately collectively oversee even our leadership. But what type of leadership is God going to hold us as under-shepherds of the church accountable for. ¹ [Peter 5:2-3](#) says, ² shepherd the flock of God that is among you, exercising oversight, not under compulsion, but willingly, as God would have you; not for shameful gain, but eagerly; ³ not domineering over those in your charge, but being examples to the flock. I want to go back to how Paul introduced himself and Timothy, who were Elders themselves. Timothy was at least at one point an Elder, likely similar to a Lead Elder or Pastor in Ephesus. And Paul was of course, an Apostle who started numerous churches where he would have served as an Elder until moving on to plant the next church. In his introduction of himself and Timothy he says they are “servants of Christ Jesus.” This word servants is not the same as the word Diaconos or Deacon that is sometimes translated servant. The word he used is DOULOS or slave. Paul viewed himself and his leadership as that of a slave of Jesus Christ. How can we as Elders keep ourselves from becoming domineering in leadership or doing ministry for the wrong reasons? It is by reminding ourselves of our true calling and ultimate Master. We are first of all Saints together with the Body of Christ, and we serve not ourselves, but our Lord Jesus Christ as his bondservant or slave to do his will for his glory in how we shepherd the sheep that God has called together into one Body at YIBC. This should characterize our ministry as Pastors, as Elders and help us to not only lead well, but to also submit well to the ultimate authority of Jesus and the collective authority of the Church as a whole.

And let me say those same things to the Deacons. There are two distinct offices in the church. According to the book of Acts, the first Deacons were chosen to take ministry responsibilities off the backs of the Elders so that they could focus on two things, prayer and the ministry of the Word. So in what we believe to be a Biblical understanding of your role as Deacons, we ask you to lead in the ministries of our church and practical concerns of our church under the authority of the Elders so that we as Elders can focus on prayer and the ministry of the Word. But as with the Elders, you are first of all and above all, a Saint, a part of the church Body. And in this body, all of us, Elders, Deacons and Members, submit to each other out of love in order to show Christ to the world around us. [John 13:35](#) says, [By this all people will know that you are my disciples, if you have love for one another.](#)" Your leadership is loving service to those who you lead in various aspects of ministry. Your leadership is serving the Body of Christ in ways that may not put you behind a pulpit, but are essential to making disciples. Things like ensuring are building and grounds are clean and well kept make guests who need to hear the gospel comfortable coming into our facilities. Making sure there are nursery workers makes it possible for parents to be able to worship and grow in their faith without distraction for a couple of hours each Sunday morning. Making sure that each language group in our church is feeling connected to the church is vitally important in our multicultural context. Having well trained greeters and ushers who make people feel welcome and cared for from the moment they enter our property makes it possible for the Elders to not have to worry that we are the only ones greeting guests, and maintain focus on the worship that will happen. Of course the Elders are a part of all of these things in some way, but it is Deacons who oversee and organize these ministries. And what would our worship be like without Deacon leadership to organize all of the musicians and print out music and put lyrics together on the screen. Deacons whatever role you serve in, you are necessary to the life of this church, and God is using your leadership in ways that help us bring glory to God and fulfill the Great Commission.

But I included verse 2 for a reason. Verse 2 says, [2 Grace to you and peace from God our Father and the Lord Jesus Christ.](#) Now of course, this could just be a considered a standard greeting that we could overlook, but I want you to think about the deep important truth that this conveys. Grace and Peace come from God through the Lord Jesus Christ. Whether we are members, Deacons or Elders, we cannot fulfill our calling as a member of the Body of Christ without the Grace of God on our lives. We were spiritually dead sinners before God reached out to us in love and sent Jesus Christ to die on a cross for our sins. Jesus's death makes peace with God our Creator who we are in rebellion to because of our sin. So for all of us to fulfill our role within the Body of Christ, we must look to Jesus to fulfill that call on our lives. We cannot do it in our own strength. We are saved by grace and we live by grace. [2Peter 3:18](#) says, [18 But grow in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen.](#) We must continue to grow in our understanding of how much we need Jesus. Grace is not a one time thing that gives us new life, although it does just that. God's grace is an ongoing outpouring of his undeserved kindness towards us that allows us grow more like Christ every day. This has to be what fuels our service in the Body of Christ. But remember I said that there are 4 groups here today. And that last group... Saints, Elders, Deacons and finally those who are not Saints. You have not accepted Jesus Christ. God's grace is ready to accept you today and make you one of his own holy ones, one of his Saints. But it only is accessed through faith in Jesus Christ as your Savior and Lord. By repenting of your sin and trusting in Jesus Christ as your

Lord and Savior, you can become part of His Body, part of his church and experience the joy that comes with being his Saint. Or you can continue to just observe from the outside and yes, experience the love we have for you because of Jesus, but miss the glorious life of being part of the Body of Christ as a Saint of God. Would you become one of us, would you accept Christ and experience the grace of God? Would you move from being outside, SOTO, to being inside, UCHI, and be accepted into his family and made holy as a Saint through Jesus Christ? Let's pray.